



福留 景子さん

◎福留景子さん

目標にしていたベスト更新はできな... だったが、久しぶりの国際大会で優勝することができた。今回のタイムは、インカレで納得のいくタイムを上げるようにまたしっかりとトレーニングをしていきたい。



堅山 将さん

◎堅山 将さん

団体では優勝出来たが、個人戦でも優勝した。個人戦で負けた相手と団体戦の決勝でも対戦することになり、(勝利して)リベンジが出来てよかった。今後の目標は、学生の大会と、社会人の大会で優勝し、国際大会に派遣されて結果を残していきたい。



堀 歩未さん

◎堀 歩未さん

すごく緊張した。海外の相手と対戦するのに慣れておらず、流れをつかめないまま、終わってしまったという感じ。今後の目標は、全日本ジュニアで優勝し、世界ジュニアでも優勝出来るよう、頑張りたい。



表彰台に立つ江藤さん(中央)と中井さん(左)

【競技結果(3位まで)】

Table with 4 columns: 種目, 順位, 氏名. Rows include Keirin, Scratch, Tandem Sprint, Madison, Sprint, 500m Time Trial, Point Race, 3km Individual Pursuit, and Omnium.

自転車競技部、全日本学生選手権で4種目制覇
7月4日〜5日、第56回全日本学生選手権トラック自転車競技大会が伊豆ペドロローム(静岡)で開催され、鹿屋体育大学自転車競技部の選手が4種目で優勝しました。女子ポイントレースは江藤里佳子さん(スポー)総合課程3年)がうれい初優勝。中井彩子

第28回ユニバーシアード競技大会、水泳、柔道で金メダル獲得

7月2日から14日まで、韓国の光州で行われた第28回ユニバーシアード夏季大会に鹿屋体育大学から出場した水泳部、柔道部の3名が、それぞれ金メダルを獲得しました。
7月8日、競泳女子200m平泳ぎに出場した福留景子さん(スポーツ総合課程4年)は、2分24秒92の好タイムで優勝。
また、柔道では男子66kg級に堅山将さん(武道課程4年)、女子78kg級に堀歩未さん(武道課程2年)が出場。2人とも個人戦では3位決定戦で惜しくも敗れたものの、見事5位入賞。そして団体戦では男女とも決勝で韓国を3-2で下し、金メダルを獲得しました。
これからの3選手の活躍にも、期待しています。



羽ばたけ 大空へ



編集・発行 / 公益財団法人 鹿屋体育大学 体育・スポーツ振興教育財団 〒891-2393 鹿屋市白水町1番地 鹿屋体育大学内 0994-46-4827 (直) 編集兼発行人 風呂井 敬

公益財団法人 ミズノスポーツ振興財団が助成金を贈呈

このたびは、公益財団法人 ミズノスポーツ振興財団(会長・水野明人ミズノ(株)社長)より、本財団に対してスポーツ振興助成金の贈呈が行われました。
この助成金は、わが国におけるスポーツ振興に資するために贈られるもので、本財団では、冠スポンズ奨学金として全国的規模の競技大会で極めて優秀な成績を収めた個人若しくは競技団体、または競技能力が高く全日本若しくは国際試合などで活躍が期待される学生等に支給しています。
6月26日に行われた贈呈式には、上治氏(右)と福永学長



助成金を贈呈する上治氏(右)と福永学長

わかくさ
この原稿の執筆依頼を受けた翌日である今朝、鹿屋には久々に青空が広がっている。まさに蒼天である。梅雨が長引き、何度も大雨に見舞われ、長い間青い空を見ていなかった。
この原稿の執筆依頼を受けた翌日である今朝、鹿屋には久々に青空が広がっている。まさに蒼天である。梅雨が長引き、何度も大雨に見舞われ、長い間青い空を見ていなかった。

この原稿の執筆依頼を受けた翌日である今朝、鹿屋には久々に青空が広がっている。まさに蒼天である。梅雨が長引き、何度も大雨に見舞われ、長い間青い空を見ていなかった。
この原稿の執筆依頼を受けた翌日である今朝、鹿屋には久々に青空が広がっている。まさに蒼天である。梅雨が長引き、何度も大雨に見舞われ、長い間青い空を見ていなかった。

Mizuno Crew21 advertisement with illustrations of people and the Mizuno logo. Text: ミズノ地球環境保全活動「Crew21」 健やかなスポーツシーンを人へ、地球へ ミズノは、環境に配慮したモノづくりとサービスを通じて地球環境保全活動に貢献します

柔道部女子、全日本学生優勝大会で連覇達成!



【出場選手】大森 さやか(3年)、丸山 ちひろ(2年)、堀 歩未(2年)、江口 高千穂(2年)、飯野 鈴々(1年)、栗原 佑佳(1年)

6月27、28日、平成27年度全日本学生柔道優勝大会(男子64回、女子24回)が日本武道館で開催され、鹿屋体育大学柔道部が女子3人制で2年連続3度目の優勝を果たしました。鹿屋体育大学は危なげない試合運びで、準々決勝

【大会結果】

	戦績	対戦相手
2回戦	2-0	桐蔭横浜大学
準々決勝	3-0	名城大学
準決勝	2-0	福岡教育大学
決勝	2-0	芦屋大学

勝で名城大学、準決勝で福岡教育大学を下し決勝に進出。迎えた決勝戦の相手は、芦屋大学。先鋒の飯野鈴々さん(武道課程1年)と、大将の江口高千穂さん(同2年)の一本勝ちで、スコア2-0とし、見事優勝を決めました。また、江口高千穂さんが優秀選手に選ばれました。

平成27年度「競技力向上視察」を実施

7月14日、鹿屋体育大学では競技力向上視察が行われました。同大執行部、競技力向上委員会委員及び教職員による激励を兼ねた本視察は、サークル所属学生の意欲を高めるとともに、サークル側との情報交換等を通じて、課外活動現場での問題点等を確認することで、より実態に合わせた支援を行い、さらなる競技力向上を目指すことを目的として、競技力向上委員会の主催により毎年開催しています。

今回は、海洋スポーツセンターで活動しているヨット部、ウインドサーフィン部の活動を、視察者は監視艇で実際に海上に出て、間近で視察しました。



海上での視察



学長との懇談風景

その後、学長から激励の言葉がかけられ、各サークルの代表からは、施設の充実に対する要望も伝えられました。同委員会では、そういった要望を競技力向上方策に活かして、今後も支援を継続していくこととしています。

国際競技大会特別強化支援制度について

鹿屋体育大学では、主な国際大会への出場及び活躍の可能性のある学生を指定して特別強化支援を行うことにより、国際大会において入賞するなど常時活躍できるトップアスリートを育成・輩出することを目的として、国際競技大会特別強化指定選手への支援制度を今年度から始めました。第1回の国際競技大会特別強化指定選手として、次の学生を指定しました。支援としては、国際大会出場にかかる旅費や強化試合、親善試合等の実施にかかる経費、その他強化支援に係る経費を負担するものです。

氏名	学年	所属団体	対象となる大会
大 城 海 輝	スポーツ総合課程4年	カヌー部	世界カヌースプリント選手権大会
黒 枝 咲 哉	スポーツ総合課程2年	自転車競技部	UCI世界選手権大会ロードレース
徳 田 優	スポーツ総合課程3年	自転車競技部	UCI世界選手権大会ロードレース
橋 本 英 也	スポーツ総合課程4年	自転車競技部	UCI世界選手権大会トラックレース
原 田 裕 成	スポーツ総合課程4年	自転車競技部	UCI世界選手権大会トラックレース
上 野 みなみ	修士課程2年	自転車競技部	UCI世界選手権大会トラックレース
塚 越 さくら	修士課程2年	自転車競技部	UCI世界選手権大会トラックレース
豎 山 将	武道課程4年	柔道部	グランドスラム東京
堀 歩 未	武道課程2年	柔道部	第28回ユニバーシアード競技大会
福 留 景 子	スポーツ総合課程4年	水泳部	第28回ユニバーシアード競技大会

スポーツトレーニング教育研究センター 研究協力校等連絡会議を開催

7月6日、スポーツトレーニング教育研究センター(研究協力校等連絡会議)が鹿屋体育大学で開催されました。スポーツトレーニング教育研究センターは、発育発達段階に応じた科学的なトレーニング方法の開発・研究を目的に活動しており、県内の小・中・高等学校と連携を図りながら研究活動を行っています。本会議は、研究協力校の校長、研究協力者との意見交換の場として毎年開催しているもので、今年度は、昨年に引き続き



児玉正幸元教授に名誉教授の称号を授与

鹿屋体育大学では、6月19日、児玉正幸元教授に、名誉教授の称号を授与しました。同大名誉教授の称号は、同大学の教授として15年以上勤務し教育上又は学術上に功績が顕著であった者、同大学の学長又は副学長として同大学の運営に関し功績が顕著であった者に授与しており、今回で31人目となります。

児玉正幸元教授は、平成3年4月に同大助教授として着任後、平成7年2月に教授に昇任し、本年3月31日に定年により退職するまでの24年間、同大での教育研究に精励されました。在職中は、哲学及び倫理



学を専門分野として教育、研究に従事するとともに、外国語教育センター長、国際交流センター長等重要な役職を務めました。また、県内外の病院内生命倫理委員会や臨床倫理委員会の委員等を歴任し、地域の医療行政にも多大な貢献を残されています。福永哲夫学長はじめ、副学長、学長補佐列席のもと行われた授与式では、福永学長から児玉正幸元教授に名誉教授称号の授与証書が手渡され、永年の多大な功績に対する感謝の意が述べられました。

大型二種免許から大型二輪免許まで取得可能です

送迎バスもご利用できます

入校日 毎週水曜日・土曜日 AM 8:30~9:00 PM 1:00~1:20

〒893-0057 鹿屋市今坂町10115番地 電話(0994)43-4141

KANOYA DRIVING SCHOOL 鹿屋自動車学校

すべての消費者のために!!

MOVE It's your Future 寿スポーツ

鹿屋市礼元1丁目3番5号 TEL 0994-44-2123

鹿屋農業高校 寿自動車学校

バス トラック イレブン

株式会社 三木商会

〒893-0009 鹿屋市大浦町12番1号 TEL (0994) 43-4178 FAX (0994) 44-9371

【営業所】 鹿屋・高山・志布志・岩川・牧之原・野方・垂水・大根占

あなたの町に、レモンガス

株式会社レモンガスかこしま 鹿屋支店

鹿屋市大浦町11423番地1 0994-42-2181

公益財団法人鹿屋体育大学体育・スポーツ振興教育財団 平成27年度第2回理事会、評議員会を開催

～平成26年度収支決算などを承認～

公益財団法人鹿屋体育大学体育・スポーツ振興教育財団は、6月9日に平成27年度第2回理事会を、6月25日に平成27年度第2回評議員会をそれぞれ開催しました（議事次第は、下記のとおり）。

会議では、平成26年度の事業報告案及び決算報告案、評議員及び理事の選任等が諮られ、審議の結果、承認されました。それぞれの内容につきましては、本紙の3頁から4頁に掲げるとおりです。

本財団は、今年度も鹿屋体育大学の教育振興のために必要な助成、体育・スポーツ活動において優れた成績を収めた学生等に対する奨学金の給付等を主な事業として活動していく所存です。

平成27年度第2回理事会議事次第

1. 日 時 平成27年6月9日（火）10:00～10:50
2. 場 所 鹿屋体育大学中会議室（管理棟2階）
3. 主な議事
 - (1)平成26年度事業報告案、決算報告案及び監査報告について
 - (2)評議員会の開催及び議題について
 - (3)理事長、専務理事及び常任理事の職務執行状況の報告について

平成27年度第2回評議員会議事次第

1. 日 時 平成27年6月25日（木）13:00～13:35
2. 場 所 鹿屋体育大学大会議室（管理棟2階）
3. 主な議事
 - (1)評議員及び理事の選任について
 - (2)平成26年度事業報告案、決算報告案及び監査報告について

1. 平成26年度事業報告書

1 事業の状況

1. スポーツ産業等連携活動の実施
平成26年4月7日に「平成26年度冠スポーツ奨学金の授与企業との意見交換会」を開催し、その経費を援助した。
2. 体育・スポーツ活動において優秀な成績を収めた学生又は競技団体に対する奨学金の支給
(1)競技能力が高く、全日本又は国際試合などで活躍できるとされる個人11名に対して、月額3万円の奨学金を支給した。
(2)次の基準により、国際大会、全国大会等で優秀な成績を収めた8サークルの個人・団体に対して、36件の奨学金（冠スポーツ奨学金、特別スポーツ奨学金）を支給した。

大会区分		1位	2位	3位
日本学生選手権	個人	7万円	3万円	2万円
	競技団体	10万円	5万円	3万円
全日本選手権 (国際大会等を含む)	個人	10万円	5万円	3万円
	競技団体	15万円	10万円	5万円

サークル名：陸上競技部、水泳部、剣道部、柔道部、ヨット部、カヌー部、自転車競技部、体操競技部

また、国際大会参加のための費用の一部について、9件の奨学金（特別スポーツ奨学金）を支給した。

3. 教育振興助成事業の実施
 - (1)講演会等の実施
平成27年3月24日に行われた「卒業生等懇親会」の経費を援助した。
 - (2)学内研修の実施
平成27年2月13日に行われた平成26年度に優秀な成績を収めた学生個人又は競技団体に対する「競技成績報告会」の経費を援助した。
 - (3)国際交流事業の実施
平成26年7月20日～24日までフランスマルセイユ柔道クラブの来学に伴う資金の一部を援助した。
 - (4)環境整備・学生の厚生事業等の実施
 - ①平成26年4月7日に行われた「平成26年度鹿屋体育大学新入生との交流会」の経費の一部を援助した。
 - ②平成26年10月18日～19日に行われた「蒼天祭（学園祭・大学開放事業）」の経費の一部を援助した。
 - ③平成27年3月24日に行われた「日本新記録記念植樹」の経費の一部を援助した。
 - (5)留学生の支援
 - ①大学間交流協定に基づく留学生の学生宿舎等環境整備の資金の一部を援助した。
 - ②平成26年12月10日に行われた留学生環境改善を目的とした「学長、指導教員、留学生の意見交換会」の資金の一部を援助した。
 - (6)教育研究活動の支援
 - ①平成26年度学生への教育支援としてTOEIC資格試験受験料の一部を援助した。
 - ②平成26年6月18日～25日に行われた「Tsukuba Summer Institute」の経費の一部を援助した。
4. 地域交流経費の支援
 - ①平成26年7月26日に行われたNIFSスポーツクラブの「スポーツ教室・親子体操教室」の経費の一部を援助した。
 - ②平成26年8月19日～21日に行われたNIFSスポーツクラブの「ジュニアスポーツキャンプ」の経費の一部を援助した。
 - ③NIFSスポーツクラブサッカーサークル活動に伴う資金の一部を援助した。
 - ④平成26年10月2日～11月10日に行われたNIFSスポーツクラブ「スポーツ教室・テニス教室」の経費の一部を援助した。
 - ⑤平成26年10月18日に行われたNIFSスポーツクラブ「スポーツ教室・親子体操教室」の経費の一部を援助した。
 - ⑥平成26年11月7日に行われた平成26年度鹿屋体育大学学長杯サッカー大会の経費の一部を援助した。また同日行われたNIFSスポーツクラブ「スポーツ教室・サッカークリニック」の経費の一部も援助した。
5. 財団月報「蒼天」の発行
財団月報「蒼天」を年間12回発行した。主な送付先は次のとおり。

- ・鹿屋体育大学学生保護者、賛助会員
- ・財団理事、監事、評議員
- ・鹿屋商工会議所、鹿屋警察署、ほか鹿屋市内の関係機関・団体
- ・学生出身高校、各都道府県教育委員会、鹿児島県内自治体・教育委員会
- ・県内の報道機関（鹿屋市記者クラブを含む）
- ・鹿屋体育大学の名誉教授、元学長、経営協議会の学外委員
- ・鹿屋市内公共施設（図書館、体育館、各地区学習センター、市内中学校等）
- ・「蒼天」広告提供企業

6. 寄附金及び賛助会費の受入
鹿屋体育大学学生保護者175名 その他個人8名 企業18企業
このうち、1件36万円又は60万円以上の寄附金又は賛助会費の納付者については、次のとおり「冠スポーツ奨学金」にその名称を冠して、厚意に応えることとした。
《冠スポーツ奨学金給付者名》（敬称略、50音順）
（医）秋津会、カイコー（株）、（株）鹿児島銀行、（株）かのや自動車学校、（株）きたやま、（有）K・Kスポーツ、旭信興産（株）、（有）寿スポーツ、小鹿酒造（株）、サツマガス工場（株）、（株）新生社印刷、（医）青仁会、大海酒造（株）、（有）風呂井会計、（株）丸屋、（公財）ミズノスポーツ振興財団、（株）ミズホ商会、（株）三井

II 処務の概要

1. 役員等の状況（平成27年3月現在）
《理事（任期2年）》
風呂井敬（理事長）、北山勉（専務理事）、川西正志（常任理事）、黒川丈朗（常任理事）、福永哲夫（常任理事）、田中俊實、坪水徳郎、中西茂、原口正明、本田修一、水口住康
《監事（任期4年）》
大藪純広、國宗久資
《評議員（任期4年）》
有里正心、梅木一宏、小濱康彦、尾脇雅弥、金久博昭、川元公郎、菊永栄一郎、河野直正、嶋田正文、下本地隆、永山定、原田耕藏、久留正嗣、三角浩一、宮下昭廣、森田俊彦

2. 理事会及び評議員会の開催状況

開催日	会議名	議案
平成26年6月10日	理事会	・平成25年度事業報告書案、決算報告書案及び会計監査報告 ・平成26年度収支予算書案 ・平成26年度第1回評議員会の開催 ・理事長、専務理事及び常任理事の職務執行状況の報告
平成26年6月26日	評議員会 (みなし決議)	・理事及び監事の選任 ・平成25年度事業報告書案、決算報告書案及び会計監査報告 ・平成26年度収支予算書案
平成26年12月19日	理事会 (みなし決議)	・平成26年度第2回評議員会の開催
平成27年2月3日	理事会 (みなし決議)	・評議員及び理事の選任
平成27年2月24日	理事会 (みなし決議)	・常任理事の選定
平成27年3月11日	理事会	・平成26年度第2次補正予算案 ・平成27年度事業計画案 ・平成27年度収支予算案等 ・評議員会の開催及び議題 ・理事長、専務理事及び常任理事の職務執行状況の報告
平成27年3月25日	理事会 (みなし決議)	・平成26年度第3回評議員会の開催
平成27年3月30日	評議員会 (みなし決議)	・評議員及び理事の選任 ・平成26年度2次補正予算案 ・平成27年度事業計画案 ・平成27年度収支予算案等

3. 監督官庁（鹿児島県）への報告等の状況
 - ①平成26年6月に平成25年度事業報告を電子申請した。
 - ②平成27年3月に平成27年度事業計画を電子申請した。
4. 職員の状況 常勤職員 1人

〈平成26年度事業報告の附属明細書について〉

平成26年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書として記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2. 予算対比正味財産増減計算書（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで） （単位：円）

科 目	予算額	決算額	差異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
定期預金受取利息	0	1,485	-1,485
債券運用配当金	3,380,000	2,973,243	406,757
受取会費	12,560,000	12,645,600	-85,600
蒼天広告収入	1,160,000	1,195,000	-35,000
蒼天売上収入	50,000	47,520	2,480
雑収益	1,050	2,761	-1,711
経常収益計	17,151,050	16,865,609	285,441
(2) 経常費用			
事業費			
スポーツ産業等連携活動費	52,000	55,080	-3,080
体育スポーツ奨学金	10,000,000	9,890,000	110,000
講演会費経費	260,000	251,600	8,400
学内研修費	50,000	21,566	28,434
国際交流援助費	250,000	40,300	209,700
環境整備・学生厚生等経費	170,000	257,800	-87,800

留学生援助費	100,000	62,780	37,220
教育研究活動費	450,000	130,000	320,000
地域交流経費	1,050,000	1,050,000	0
管理費			
事務経費	320,000	317,143	2,857
人件費	1,800,000	1,808,288	-8,288
会議費	100,000	28,405	71,595
通信運搬費	100,000	92,964	7,036
印刷製本費	1,450,000	1,472,558	-22,558
諸謝金	110,000	130,000	-20,000
雑費	200,000	142,075	57,925
経常費用計	16,462,000	15,750,559	711,441
評価損益等調整前当期経常増減額	689,050	1,115,050	-426,000
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	689,050	1,115,050	426,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
有価証券売却益	1,565,260	1,565,260	0
有価証券売却益	1,565,260	1,565,260	0
有価証券評価益	0	12,430,000	-12,430,000
基本財産評価益	0	12,430,000	-12,430,000
経常外収益計	1,565,260	13,995,260	-12,430,000
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	1,565,260	13,995,260	-12,430,000
当期一般正味財産増減額	2,254,310	15,110,310	-12,856,000
一般正味財産期首残高	6,666,419	8,236,419	-1,570,000
一般正味財産期末残高	8,920,729	23,346,729	14,426,000
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	205,461,746	205,461,746	0
指定正味財産期末残高	205,461,746	205,461,746	0
III 正味財産期末残高	214,382,475	228,808,475	-14,426,000

3. 財産目録 (平成27年3月31日現在)

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
預金	普通預金	運転資金として	17,402,229
	鹿児島興業信用組合 古江支店		7,618,198
	鹿児島銀行鹿屋支店		1,115,176
	ゆうちょ銀行振替口座 賛助会費		7,327,562
	ゆうちょ銀行振替口座 広告費		1,340,451
	ゆうちょ銀行		842
仮払金		平成27年度事業分	40,000
流動資産合計			17,442,229
(固定資産)			
基本財産		公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用	
定期預金			5,461,746
	鹿児島銀行鹿屋支店		4,261,746
	ゆうちょ銀行		1,200,000
投資有価証券			212,430,000
投資有価証券(指定)			212,430,000
固定資産合計			217,891,746
資産合計			235,333,975
(流動負債)			
預り金		平成27年度分冠スポーツ奨学金	6,525,500
流動負債合計			6,525,500
負債合計			6,525,500
正味財産			228,808,475

4. 平成27年度事業計画書

1. スポーツ産業等連携活動の実施について

平成27年度「冠スポーツ奨学金」授与企業との意見交換会を開催し、援助する。

2. 体育・スポーツ活動において優秀な成績を収めた学生又は競技団体に対する奨学金の支給について

(1) 競技能力が高く、全日本又は国際大会などで活躍できるとされる優秀な学生に対して、月額3万円の奨学金を支給する。

(2) 国際大会、全国大会等で優秀な成績を収めた個人・競技団体に対して、奨学金を支給する。

(3) 国際大会等に出場する学生の参加費用の一部を支給する。

3. 教育振興助成事業の実施について

(1) 講演会等の実施

教職員、学生等を対象とした講演会等の招聘講師の謝金・旅費および卒業・修了記念祝賀会の経費等を援助する。

(2) 学内研修の実施

大学が主催する学内の研修等(競技成績報告会など)の経費を援助する。

(3) 国際交流事業の実施

国際交流推進のため、教職員、学生と国際交流協定締結大学との国際交流事業に要する経費を援助する。

(4) 環境整備・学生の厚生事業等の実施

新入生との交流会の経費を援助する。学生が主体となって行う活動(蒼天祭など)の経費の一部を負担する。日本新記録記念植樹の経費の一部を援助する。また、災害等があった場合、被災した学生に対して援助を行う。

(5) 留学生の支援

外国人留学生に対する教育が円滑に実施されるよう、これに係る経費を援助する。外国人留学生等の不測の事態に対して支援を行う。

(6) 教育研究活動費の支援

鹿屋体育大学の学生・教員及び職員の学内外で行われる教育活動、研究活動に係る経費を援助する。

4. 地域交流事業の実施について

体育・スポーツの地域交流事業及び大学開放事業等に対して援助を行う。

5. 財団月報「蒼天」の発行について

財団月報「蒼天」を年間12回発行する。

6. 寄附金及び賛助会費について

企業、個人からの寄附金、保護者等からの賛助会費の受け入れを行う。

5. 平成27年度収支予算書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位：円)

科	目	予算額	前年度予算額	増減
I	一般正味財産増減の部			
1.	経常増減の部			
(1)	経常収益			
	基本財産受取利息	1,200	0	1,200
	基本財産受取配当金	3,430,000	3,380,000	50,000
	受取会費	9,500,000	12,560,000	-3,060,000
	蒼天広告収入	1,150,000	1,160,000	-10,000
	蒼天売上収入	51,000	50,000	1,000
	雑収益	1,500	1,050	450
	経常収益計	14,133,700	17,151,050	-3,017,350
(2)	経常費用			
	事業費			
	スポーツ産業等連携活動費	55,000	52,000	3,000
	体育スポーツ奨学金	7,000,000	10,000,000	-3,000,000
	講演会費経費	430,000	260,000	170,000
	学内研修費	50,000	50,000	0
	国際交流援助費	250,000	250,000	0
	環境整備・学生厚生等経費	170,000	170,000	0
	留学生援助費	1,000,000	100,000	900,000
	教育研究活動費	450,000	450,000	0
	地域交流経費	1,050,000	1,050,000	0
	管理費			
	事務経費	350,000	320,000	30,000
	人件費	1,800,000	1,800,000	0
	会議費	100,000	100,000	0
	旅費交通費	15,000	0	15,000
	通信運搬費	100,000	100,000	0
	印刷製本費	1,470,000	1,450,000	20,000
	諸謝金	120,000	110,000	10,000
	雑費	170,000	200,000	-30,000
	経常費用計	14,580,000	16,462,000	-1,882,000
	評価損益等調整前当期経常増減額	-446,300	689,050	-1,135,350
	評価損益等計	0	0	0
	当期経常増減額	-446,300	689,050	-1,135,350
2.	経常外増減の部			
(1)	経常外収益			
	有価証券売却益	0	1,565,260	-1,565,260
	有価証券売却益	0	1,565,260	-1,565,260
	経常外収益計	0	1,565,260	-1,565,260
(2)	経常外費用			
	経常外費用計	0	0	0
	当期経常外増減額	0	1,565,260	-1,565,260
	当期一般正味財産増減額	-446,300	2,254,310	-2,700,610
	一般正味財産期首残高	6,590,469	6,666,419	-75,950
	一般正味財産期末残高	6,144,169	8,920,729	-2,776,560
II	指定正味財産増減の部			
	当期指定正味財産増減額	0	0	0
	指定正味財産期首残高	205,461,746	205,461,746	0
	指定正味財産期末残高	205,461,746	205,461,746	0
III	正味財産期末残高	211,605,915	214,382,475	-2,776,560

少年野球教室を開催

7月4日、鹿屋体育大学において、同大硬式野球部が主催する中学生向けの「少年野球教室」が開催されました。

この教室は、中学生と大学生が野球を通して交流すること、双方の技術と野球に対する意識の向上を図り、大隅地区の野球界の振興に寄与することを目的としており、3回目となる今回は、大隅地区から約80名の中学生が参加しました。

始めに同大硬式野球部部長を務める中本浩揮講師による「チームビルディング」をテーマにしたメンタル講座が行われ、参加者達は真剣な表情で「チームとは？」について考えていました。

その後、中学生3名に大学生1名の小グループに分かれて、打撃・走塁・守備講座が行われました。途中、機器を使って一人一人のバッティングフォームの撮影や、スイングの速度・時間、ヘッド角度等の測定を行い、その写真や結果は、閉講式で全員に贈呈されました。

当日はあいにくの天候で屋内での開催となりましたが、会場には終始明るい声が響いていま



「NECレッドロケッツ」による「バレーボールセミナー」を開催

7月11日と12日の2日間、鹿屋市主催による「NECレッドロケッツ」や、女子高校生、小学生によるバレーボールセミナーが開催されました。これは、鹿屋市における鹿児島国体に向けた小中学生及び高校生の競技力向上と国体への機運の醸成を図るために、Vリーグ優勝チームであるNECレッドロケッツを招聘して開催されたもので、11日は同市の串良アリーナを会場に、鹿屋体

育大学女子バレーボール部等との公開合同練習や、女子高校生、小学生及び指導者を対象とした教室が開かれました。12日は会場を鹿屋体育大学に移し、女子中学生及び指導者約50名を対象とした教室が行われました。教室では講師となったNECレッドロケッツの5選手による見本となるプレーやわかりやすい説明を受けて、参加者達は熱心にそれぞれの課題に取り組みでいました。



交通法令等特別講習会を開催

鹿屋体育大学では、7月8日と15日に学生及び教職員を対象として交通安全等特別講習会を開催しました。この講習会は交通安全意識の普及と高揚を図り、交通事故及び交通違反の防止に努めることを目的に毎年開催しているもので、大麻等薬物乱用防止・盗難防止に関する講話、女性に対する安全教室も併せて開催しました。

はじめに、鹿屋警察署交通課から、交通安全に関する講話がありました。続いて、同署生活安全

学生宿舎で防災訓練を実施

7月16日、鹿屋体育大学学生宿舎の入居者による防災訓練が実施されました。この訓練は、入居者の生命・財産を守るため、①日常生活における消火意識の高揚を図ること、②避難方法を確認すること、③災害発生時に迅速な対応を行うことを目的に自治会である学生宿舎会が主体となって、毎年実施しているもの。

訓練では、火災が発生したと想定して、初期消火、通報、避難、負傷者の救助の各訓練が行われ、学生達は真剣な表情で、訓練を行っていました。

刑事課から、薬物乱用防止の安全教室が開催されることになり、女性が多量に薬物に接する状況に懸念をもち、女性に合わせた具体的な自己防衛策について、実演を交えた指導が行われ、非常に有意義な講習会となりました。

最後に、同じく生活安全刑事課から、女性に対する安全教室が開催されることになり、女性に合わせた具体的な自己防衛策について、実演を交えた指導が行われ、非常に有意義な講習会となりました。



サークル紹介

テニス部

私たちテニス部は、顧問の高橋仁大先生のもと、男子15名、女子5名の計20名で活動しています。週5日の練習で平日は2時間半から3時間、土曜日は4時間、早朝練習も行っています。

テニス部は1985年に創設され、今年で30年目を迎える伝統のあるサークルです。数年前までは九州学生リーグの2部や3部に降格し部員が集まらない年さえありましたが、男子は4年前、女子は5年前1部リーグに復帰し、再び活気のある部活になってきています。

過去には女子の先輩が全日本学生選手権のシングルスでベスト4に入賞、また昨年男子は団体戦である全日本学生王座決定戦でベスト8に入賞するなど輝かしい成績を収めました。

しかし、関東や関西のチームに比べると個人も団体力的にもまだまだ劣っている状況です。

私たちはそんな状況を打破し、過去の栄光を取り戻し、それを越えるために部員全員で切磋琢磨しながら厳しい練習に励んでいます。

今年の9月に行われる九州学生王座決定戦では男女ともに全国への切符を手にするのを通過点とし、全国でも上位進出を目指します。全国に鹿屋体育大学の名を広め、地方からでも活躍できるということを証明できるようなサークルになっていきます。

今後ともよろしくお祈りします。

何か物足りない、何か決め手に欠く、そんな“あと一歩”をお手伝いします。

ヒューマン印刷に贈る

株式会社 新生社印刷

〒893-0013 鹿児島県鹿屋市礼元1-22-34
TEL 0994-43-2238/FAX 0994-43-7541
URL <http://www.shinsei-p.co.jp>
E-mail kan@shinsei-p.co.jp

心豊かな車社会を願う

寿自動車学校

スクールバスを1時間ごとに運行しています

鹿屋市礼元1丁目13-30 電話(0994) 43-2627

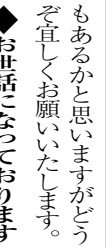
大瀧酒造株式会社

大瀧 一番 常盤 黒麹 蒼々 蒼々 蒼々 海

〒893-0016 鹿児島県鹿屋市白崎町21番1号
TEL 0994-44-2190(代) FAX 0994-40-0950



総務課広報係 野元 慎也



教務課入試係 濱田 史門

はじめてまして
お世話になっております
もあるかと思っておりますが、どうぞ宜しくお願いいたします。

7月1日付けで鹿児島大学から鹿屋体育大学総務課広報係へ参りました野元と申します。
まだ異動して間もないですが、鹿屋体育大学はスポーツ、健康等の分野で先進的な研究が行われていたり、多くの学生が全国レベルで活躍するなど、活気と魅力に溢れた大学であると感じています。
広報係はその魅力を学外へ発信する、非常に重要な役割がある仕事だと思っております。私自身、まだまだ知らないことばかりではありますが、本学の魅力を多くの人に知っていただければ、しっかりと勉強していきたいと思っております。
ご迷惑をおかけすること
いたします。

フランス人柔道家による特別講義を実施
7月14日、フランスの柔道プロフェッサーであるレベック・ジャン・ミシエルさんが鹿屋体育大学で特別講義を行いました。
レベックさんは、現在クラブで200名以上に柔道を指導しており、講義ではフランスにおける柔道の歴史やフランスの柔道人口が非常に多いといった現状、フランスではスポーツの指導者資格制度が確立されていること、クラブの実態や運営方法等について、日本語で説明を行いました。
大学院生を中心とした参加者達は、レベックさんの

説明を熱心に聞いていました。
また当日は、テレビ会議システムを利用して東京サテライトキャンパスにいる学生も受講することができ、とても有意義な講義となりました。

今年で社会人5年目となりますが、何事にも挑戦する気持ちと初心を忘れず、日々邁進していきたいと思っております。また早く皆様と楽しく仕事ができるようにがんばって参りますので、どうぞよろしくお願



闘いのスケジュール 9月

- 3日・2015年度 全日本学生ヨット個人選手権大会 (～6 愛知/海陽ヨットハーバー)
- 4日・第91回日本学生選手権水泳競技大会 (～6 静岡/古橋廣之進記念浜松市総合水泳場)
- 10日・平成27年度日本カヌースプリント選手権大会 (～14 石川/木場湯カヌー競技場)
- 10日・第93回全日本選手権大会(漕艇) (～13 埼玉/戸田ボートコース)
- 11日・天皇賜盃第84回日本学生陸上競技対校選手権大会 (～13 大阪/ヤンマースタジアム長居他)
- 12日・平成27年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会 (～13 埼玉/埼玉県立武道館)
- 19日・平成27年度第23回全日本学生女子ヨット選手権大会 (～21 神奈川/葉山新港)
- 25日・第43回九州学生陸上競技選手権大会 (～27 福岡/久留米スポーツセンター陸上競技場)

学内行事 9月

- 7日 学生指導研究会
- 12日 スポーツパフォーマンス研究棟竣工披露式典
- 26日 スポーツ国際開発学共同専攻入試(修士)
- 27日 大学体育スポーツ高度化共同専攻入試(博士)

事務局から

本財団の賛助会員制度は、平成元年四月に発足しました。年会費(寄付金は一口 企業三万円、個人二万円)からです。
本財団は、公益財団法人として認定されています。本財団に対する年会費(寄付金)につきましては税法上の優遇措置があり、二万円を超えるご寄付につきましては、その超える額について所得税の寄付金控除の対象となります。
※年会費は、振り込みもしくは現金で受け付けております。
振り込みの場合は、次の金融機関へお願いいたします。
・鹿児島銀行鹿屋支店 (普) 九三二〇六七
・鹿児島相互信用組合古江支店 (普) 三五八二二一
・鹿児島相互信用金庫西原支店 (普) 〇〇四三八〇
〈口座名義〉
公益財団法人 鹿屋体育大学体育・スポーツ振興教育財団 理事長 風呂井敬

ありがとうございます

賛助会費は、奨学金、国際交流、学内研修等に利用させていただきます。
心から感謝申し上げます。

カイクー(株) 様(三万円)

- 女子200m自由形 1位 菅 晴瑠奈
 - 女子400m自由形 1位 菅 晴瑠奈
 - 女子50m自由形 1位 竹林 愛花
 - 女子100m自由形 1位 竹林 愛花
 - 男子400mメドレーリレー 3位 小林、脇園、矢田崎、梶谷
 - 男子800mフリーリレー 1位 梶谷、小林、矢田崎、脇園
- 【剣道】
◆第63回全日本学生剣道選手権大会 (6/27～28 大阪府/大阪府立体育会館)
男子個人 ベスト8 望月 脩平
- 【自転車競技部】
◆全日本学生選手権第27回全日本学生個人ロードタイムトライアル自転車競技大会 (6/7 埼玉/利根川上流域南側)
男子の部 30.8km
1位 山本 大喜
女子の部 25.2km
1位 江藤 里佳子
7位 西島 叶子
8位 西森 彩良々
- ◆第31回全日本学生選手権個人ロードレース大会 (6/13～14 長野/木曾郡木祖村)
男子個人ロードレース 4位 徳田 優
女子個人ロードレース 4位 江藤 里佳子
5位 中井 彩子
- ◆第19回全日本選手権個人タイム・トライアル・ロード・レース大会 (6/21 栃木県/大田原市)
男子U23の部 2位 山本 大喜
4位 橋本 英也
男子ジュニアの部 4位 富尾 大地

闘いの記録 6月

- 【陸上競技】
◆2015 日本学生陸上競技個人選手権大会 (6/12～14 神奈川県/Shonan BMWスタジアム平塚)
女子棒高跳 3位 青柳 唯
女子やり投 4位 坂倉 杏奈
◆秩父宮賜杯第68回西日本学生陸上競技対校選手権大会 (6/5～7 岐阜県/岐阜メモリアルセンター長良川陸上競技場他)
女子走幅跳 1位 宮下 菜央
- 【男子バスケットボール】
◆第65回九州地区大学体育大会 (6/20～22 福岡県/嘉穂総合体育館他) 3位
- 【女子バスケットボール】
◆第65回九州地区大学体育大会 (6/20～22 福岡県/嘉穂総合体育館他) 2位
- 【水泳】
◆第62回九州地区国公立大学選手権水泳競技大会 (6/20～21 福岡県/福岡市総合西市民プール)
男子400m自由形 1位 梶谷 一樹
男子200m自由形 1位 小林 祐馬
2位 梶谷 一樹
男子100m平泳ぎ 2位 脇園 樹
男子200m平泳ぎ 1位 脇園 樹

広告欄の御利用について

本紙各面の広告欄の御利用をお待ちしております。
申し込みは、
電話 0994-46-4827
(公財)鹿屋体育大学体育・スポーツ振興教育財団事務局まで、ご連絡願います。

鹿屋体育大学 学園祭・大学開放事業

蒼天祭
2015.10.17-18

汲取の御注文 浄化槽の管理

水質保全に 全力投球

鹿屋市 株式会社 西日本浄化サービス
代表取締役 田中ふみ子
鹿屋市王子町4531-2
TEL (0994) 43-3425